

DS-95i

封入封かん機

Your Interactive Mailroom Specialist



**Seal**  
糊付け



**Insert**  
封入



**Fold**  
折り



**Collate**  
丁合

quadi<sup>ent</sup>  
Because connections matter.

# DS-95i The Intelligent Mailroom Specialist

## 操作がしやすく適応性と生産性に優れたインサーター(封入封かん機)

インサーターは請求書や納品書などの書類を折り、封入、封かん(封筒の糊付け)までの作業をすべて自動化します。

特にクアディエントの DS-95i は、操作が簡単で様々な作業内容に対応する生産性の高いインサーターです。日常メール発送業務(請求書、納品書など)からダイレクトメールに至るまで、DS-95i を活用できます。アップグレードも可能なので、将来作業内容が変更したり処理量が増加してもスムーズに対応します。

### 1. 自動仕分け機能

①

### 2. 封筒を追い詰みして生産性アップ

②



### ① 自動仕分け機能

書類セットの厚みまたは読取マークなどに基づいて、2か所の出口に自動的に仕分けすることができます。また、クアディエント独自のパワースタッカーにより、封入済み封筒を簡単に取り出すことができます。

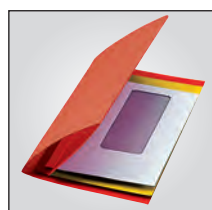
### ② 封筒を追い詰みしてスピードアップ

封筒ホッパーには標準で500枚積載でき、封筒の追い詰みが可能なため、機械動作を止めずに作業を完了します。さらにオプションの高積載コンベアスタッカーは、最大1,000枚までの封筒が積載できるため、ワンランク上の処理が可能となります。



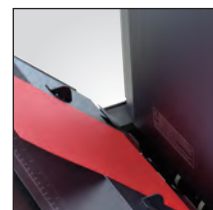
### ③ 小冊子などにも対応

バーサファイダーは小冊子やカタログのように厚みがある書類に対応できるように開発された特殊なフィーダーです。下部給紙方法なので上部から書類を積載できるため、機械を停止することなく補充することが可能です。(最大2接続可能)



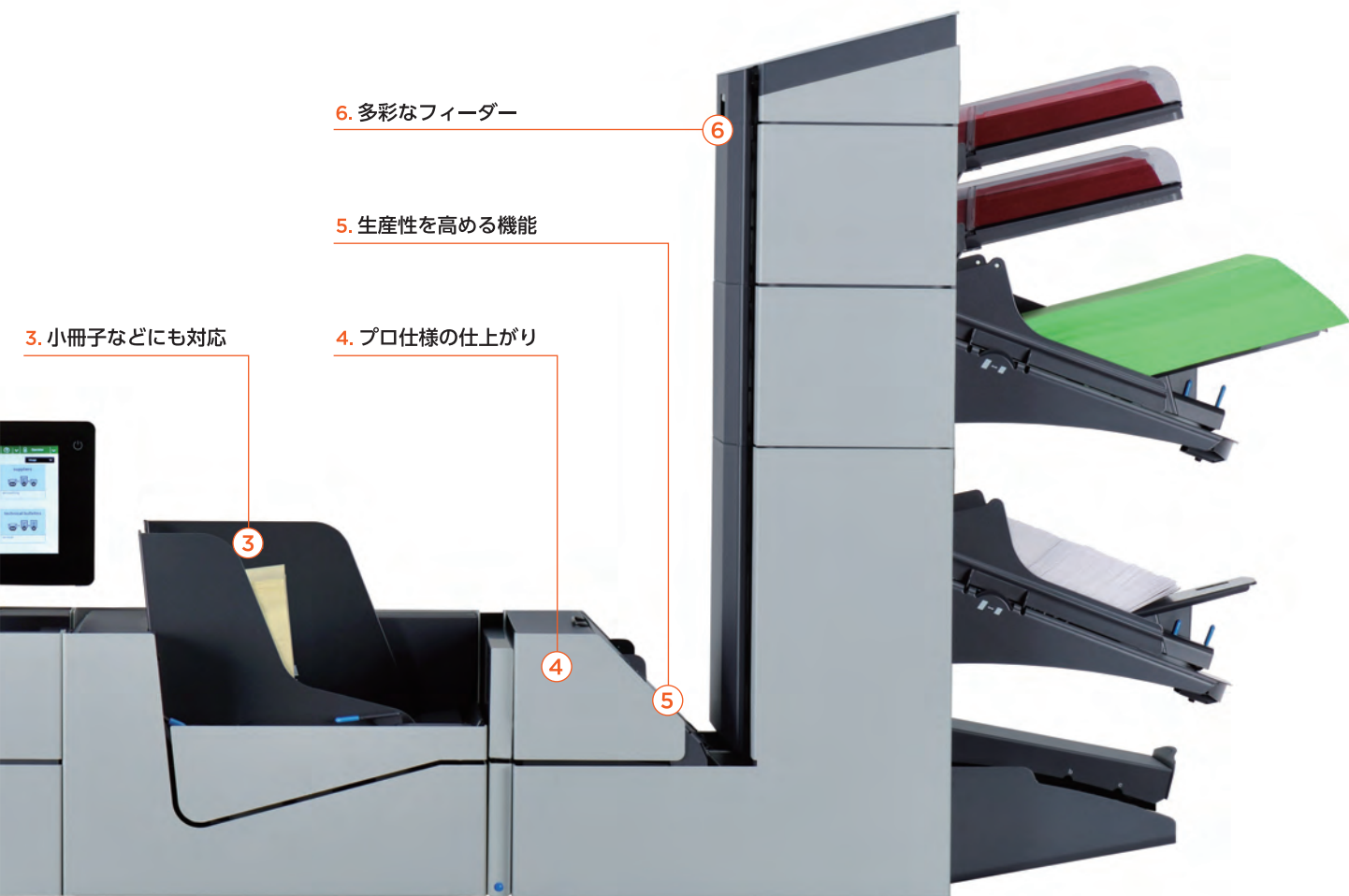
### ④ プロ仕様の仕上がり

折る前に丁合いをすることは、封筒内で丁合いをするよりも処理速度が早くなるだけではありません。出来上がりが美しいことと紙詰まりを減らすことも利点です。パワーフォールド機能により、二つ折りでは最大10枚まで、三つ折りでは最大8枚までのまとめ折りができます。



### ⑤ 生産性を高める機能

ダイバートデッキは、処理を続行させながら用紙セットの不良など封入しない用紙をデッキ上に分離します。



3. 小冊子などにも対応

6. 多彩なフィーダー

5. 生産性を高める機能

4. プロ仕様の仕上がり

## ⑥ 多彩なフィーダー



### 必要なモジュールやオプションを追加するだけで対応可能

DS-95iは、2から7までフィーダーを拡張できるモジュール型設計なので、作業内容が変更・追加になった時に必要なモジュールやオプションを追加するだけです。

### 高積載フィーダー

DS-95iは高積載フィーダーの設定が可能で、一度に最大725枚の書類をセットすることができ、給紙の手間を削減します。



### スペシャルフィーダー

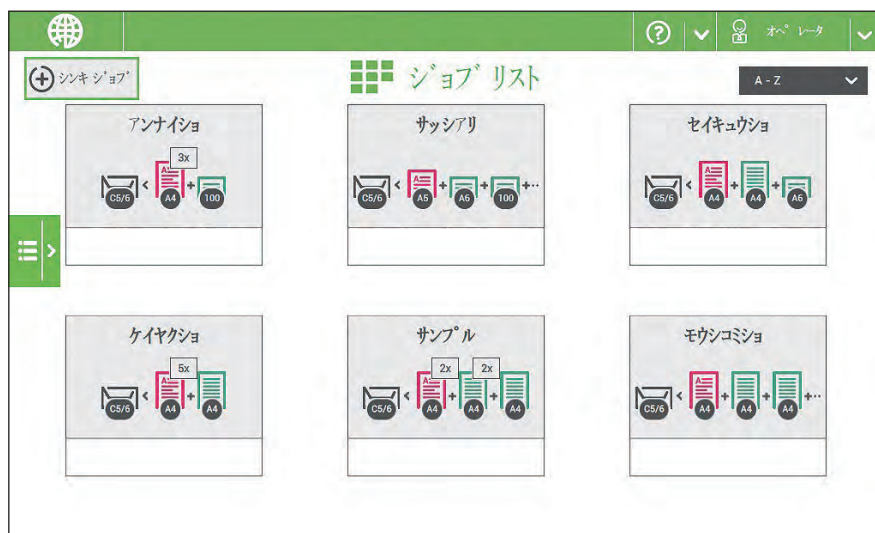
スペシャルフィーダーを使用すると、厚み調整が可能となり、内三つ折りされた用紙や小冊子など特殊な封入物を処理することができます。

### マキシフィーダー

最大1,200枚の用紙または320枚のBRE（返信用封筒等）を積載することができます。

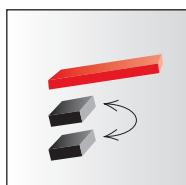
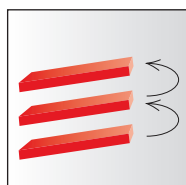
# Productive, Versatile, Connected And User-Friendly

クライアントのインサーター、DS-95i は様々な作業内容に対応し、作業効率の向上を実現します。日々の封入封かん作業から、ダイレクトマーケティング用の封書準備など、簡単な操作で設定・運用ができるインサーターです。



## 操作性の高い大型カラータッチスクリーン

DS-95iは10インチのガラスカバーフルカラータッチスクリーンを搭載。見易さと操作性を追求したコントロール画面で、より簡単に作業を設定できます。お客様の声を基に一新したユーザーインターフェイスはアイコンを多く取り入れることで、わかりやすく操作しやすい環境を実現しました。設定する書類・封入物の種類、設定に不備がある場所をアイコンで表示することで、より簡単に作業を進めることが可能です。



## フィーダーリンク

フィーダーをリンクさせることにより、1つのフィーダーが空になると別のフィーダーに自動的に切り替るので、機械を停止させずに連続運転することができます。



## 書類検知センサー

ジョブ選択後、自動で用紙の有無をチェックします。書類の積載フィーダーを指定し、書類が正しく積載されない場合は、どの

フィーダーに問題があるかを画面に表示します。そのため、ジョブが正しく設定され、作業されているかをシステムが常にサポートします。

## 目的に応じたDS-95iのカスタマイズ構成例



DS-95i 構成1

- ・1オートマッチックフィーダーと1マキシフィーダー



DS-95i 構成2

- ・2オートマッチックフィーダー
- ・1ショートフィーダーと1マキシフィーダー



DS-95i 構成3

- ・1高積載フィーダーと2スペシャルフィーダー
- ・バーサフィーダー



DS-95i 構成4

- ・6オートマッチックフィーダーと2バーサフィーダー

※高積載縦型スタッカーは標準装備。



## 2つの読取機能:バーコード (BCR) /OMR

光学式リーディングシステムがバーコード (BCR) やOMRを読み込むことで誤封入を防止します。

バーコード (BCR) /OMRマークとは、宛先毎に枚数や内容物の異なる書類を自動で封入できるように、区切りや通し番号などを示すマークです。

このマークを封入封かん機が読み取ることで、封入のタイミングや順番を管理、宛先に基づいた封入物選択を正確に自動制御します。帳票の重複・欠落があっても見逃しません。(バーコードの読み取りは水平/垂直の両対応)

この読取機能を利用することで、請求書などの日々の郵送物に、クーポン、チラシなどを同封、DMとしても活用することが可能です。より少ない郵送数でターゲットに合ったより多くの情報を配信できることにきっと満足することでしょう。

# PortOne By quadient

## 書類へマークを簡単付与するシステム『PortOne』(オプション)

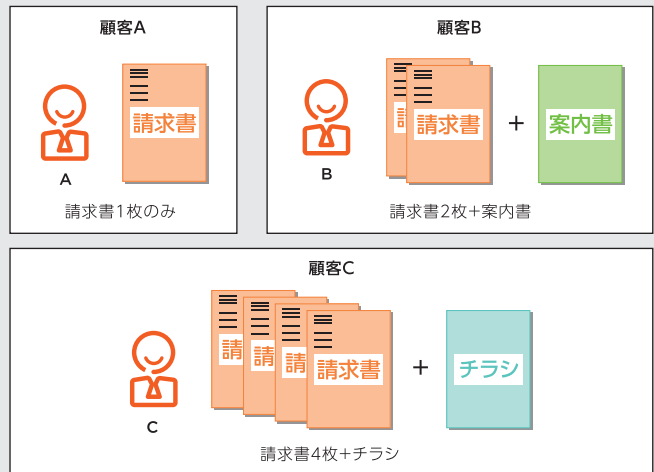
PortOneを使えば、データの並べ替えと分割、OMR/バーコード (BCR) の付与が可能です。

お客様の任意のルールに基づいて書類を印刷前に並べ替え、また、あらかじめデータを機械作業用(機械で封入できる枚数のもの)と、手作業用(機械で封入できない枚数のもの)に分割できます。書類の区切りを封入封緘機で読み取れるOMR/バーコード (BCR) マークとして書類 (PDF) に付与、宛先に基づいてお客様ごとに枚数の異なる書類、異なる同封物の選択封入を簡単に実現します。

既存システムの変更は不要、マークの付与スペースがない既存書類にも縮小機能により、自由に帳票サイズを変更可能、マークの付与に必要なスペースを確保します。

## 機内へのアクセス

フィーダーから排出口まで、すべての書類・封筒が通るルートに迅速、安全、かつ簡単にアクセスが可能です。万が一紙詰まり等で作業がストップした際にも、簡単に対応できます。また、タッチスクリーン上にも、問題の箇所を表示することで、更に復帰作業を容易にします。



## 複数ページと様々な封入物に対するソリューション

DS-95iは、1つのジョブで異なるページ数や封入物で構成された書類セットを処理する際に、革新的なソリューションをもたらします。例えば、同じ請求書番号でグループ化するように設定すると、請求書番号が替わるまで書類を丁合します。任意のグループに対してのみ封入物を追加する設定もできます。

これらのソリューションはバーコード読取機能を利用することで可能となります。



## 誤封入防止機能

DS-95iはすべてのフィーダーで、エレクトロ・メカニカルセンサーの厚み検知を行い、誤封入を防止します。また、書類の長さ、封筒の長さに加え、封入直前の総厚みも検知することで、封入物が正しくセットされているか確認し、誤封入防止の精度をさらに高めています。



## モデル

DS-95iエキスパート	(2,4,6 ステーション) *	すべてのフィーダーが様々な用紙サイズに対応したオートマッチック・フィーダー
DS-95iスペシャル	(2,4,6 ステーション) *	オートマッチック・フィーダーに加えて、小冊子、予め折られた用紙などに対応したスペシャル・フィーダー
	(3,5 ステーション)	各2,4ステーションモデルに高積載フィーダーを追加した場合

## DS-95i製品仕様

## 標準機能

●カラー液晶タッチパネル	10インチ
●ロード&ゴー *	
●ジョブメモリ	最大50
●フレックスフィード *	
●手差し(ホッチキス止めの有無に関係なく)	
●複数ページの用紙フィード	
●フィーダーリンク *	
●パワーフォールド *	
●折りのみ	
●エレクトロ-メカニカル厚み検知(フィーダー部/総厚み) *	
●ダイバートデッキ *	
●封筒ダイバートデッキ	
●拡張可能なフィーダーステーション	
●セミオートマッチック封筒分離 *	
●自動仕分け機能 *	
●自動コレクターストップ	
●自動封かん ON/OFF	
●封筒出口:高積載縦型スタッカー *	最大500枚

## オプション

●フィーダー:ショートフィーダー *	最大325枚
●フィーダー:高積載フィーダー *	最大725枚
●フィーダー:マキシフィーダー(最大2台まで) *	最大1,200枚(A4用紙) / 320枚(BRE)
●フィーダー:パーサフィーダー(最大2台まで)	最大500枚
●封筒出口:サイドエグジット *	最大500枚
●封筒出口:高積載コンベアスタッカー	最大1,000枚
●読取装置:CIS(スキャナー)	
●読取機能:OMR1トラック、1次元バーコード、2次元バーコード(Data Matrix, QRコード)	

注:\*印はクアディエント独自の機能、用紙は80gsmA4コピー用紙で換算

## 環境への取り組み

様々な環境規制に準拠している DS-95i は、クアディエントが独自で定めたエコラベルを取得しています。年間のエネルギー消費量を 60% 削減する自動待機モード、同等のインサーターと比較すると約 25% 軽量でしかもコンパクトな設計、さらに貨物量を抑える優れた梱包デザインを採用することで「カーボンフットプリント」を抑えることができます。



## ■ お問い合わせはこちら

## TOPPANイクイップメント株式会社

〒135-0062 東京都江東区東雲1-7-12KDX豊洲グランスクエア5F  
TEL.0570-077-112

カタログ上のご注意/カタログ記載商品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。また、カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で多少異なる場合があります。

2023.2

## 能力

●月間処理能力	80,000通
●処理速度	4,300通/時間
●ステーション数	最大8フィーダー

## 封入物サイズ

●タテ	90mm~356mm
●ヨコ	130mm~230mm
●重さ	60gsm~250gsm 折る場合:60gsm~170gsm
●フィーダー積載能力	325枚
●最大総厚み	2.5mm

## 封筒サイズ

●タテ	105mm~162mm
●ヨコ	160mm~248mm
●重さ	80gsm~120gsm
●最大封筒積載枚数	500枚

## 折り

●最大折り枚数	二つ折り10枚または三つ折り8枚
●折りタイプ	内三つ折り、ゼット折り、二つ折り、 四つ折り、折り無し $\triangle Z \angle \triangleleft \_$

## パーサフィーダー(オプション)

●タテ	90mm~152mm
●ヨコ	120mm~230mm
●重さ	80gsm~250gsm
●厚み	最大2.5mm

## 機械サイズ

●本体サイズ	1,540mm(幅)×465mm(奥行)×740mm(高さ)(2ステーション) 1,540mm(幅)×465mm(奥行)×800mm(高さ)(3or4ステーション) 1,540mm(幅)×465mm(奥行)×970mm(高さ)(5or6ステーション) ※パーサフィーダー1台接続時:プラス幅460mm
●重量	115.5kg(2ステーション) 123.0kg(3or4ステーション) 137.0kg(5or6ステーション) ※パーサフィーダー1台接続時:プラス31kg
●電源	100V(50Hz) / 115V(60Hz) 4A *

\*: インサーター部分、構成によりアンペアは異なります。

## クアディエントについて

世界で最も意義あるカスタマーエクスペリエンスを支える原動力となる事が Quadientの使命です。カスタマーエクスペリエンスの管理、ビジネスプロセスオートメーション、郵便関連ソリューション、宅配ロッカーソリューション(PLS)の4つの主要分野に注力することで、Quadientは「ヒト」と大切なモノとのつながりを簡素化することを支援します。世界中の数千社のお客様が、密でパーソナルな「繋がり」を創り出し、優れたカスタマーエクスペリエンスを実現するためのサポートを提供します。Quadientはユーロネクスト・パリ(QDT)のコンパートメントBに上場しており、SBF120indexに属しています。

Quadient®およびQuadientロゴはQuadient group AGの登録商標です。その他のすべての企業名および製品名は、それぞれの所有者に帰属します。機能の説明、パフォーマンス、仕様など、本文書に含まれるすべての情報は、通知なしに変更される可能性があります。

詳細について: <https://www.quadient.com/ja/homepage>

本公式アカウント: LinkedIn: @Quadient Twitter: @Quadient Facebook: @Quadient